

事務事業マネジメントシート  
(兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名	《H22新規》やまなし心づくり研究指定校事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2010-12524				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	小田切 雅裕				
			所属担当	教育指導担当	担当者名	小林 智奈美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 01	目 02	細目 020	細々目 40
政策	23	学校教育の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成22 ~ 平成24 年度)			法令根拠	「やまなし」心づくり研究指定校事業 実施要項					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 山梨県教育委員会より3年間(H22~H24)指定され、若草中学校区において実施する研究事業である。自他への思いやりや情操を育む「豊かな心育成」をめざし、家庭、地域との連携の上に小中学校が連携し、義務教育9年間を見通した道徳教育の実践を図る。			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
			報償費	143						
			消耗品	383						
			食糧費	12						
			印刷製本費	63						
					計		601			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	24年度活動実績: 事業最終年度になる。3年間の研究を活かし、公開研究発表を行う。研究成果物の作成。 25年度活動予定: 県指定研究事業終了のため、事業終了	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア:小中の連携した授業参観の実施 回 イ:公開研究発表会の実施 回 ウ:
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	若草地区小中学校(児童生徒・教職員) 若草地区保護者 地域	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア:若草中学校区児童生徒数 人 イ:若草地区住民 人 ウ:PTA数 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	学校と家庭・地域が連携した道徳教育の実施により、児童生徒の「豊かな心の育成」をはかる	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア:道徳授業時間数 時間 イ:推進協議会の開催 回 ウ:
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	自他を尊重し他人を思いやる子どもの育成、地域に対する愛着と誇りを持つ子どもの育成	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア:児童生徒のアンケート % イ:

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円	300	300						
		地芳債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	301	302						
		事業費計(A)	千円	601	602	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2						
		延べ業務時間	時間	80	80						
		人件費計(B)	千円	317	317	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	918	919	0	0	0	0	0	0
	活動指標	ア	回	2.0	2.0						
		イ	回	2.0	2.0						
	対象指標	ア	人	1,375.0	1,362.0						
		イ	人	1,375.0	1,362.0						
		ウ	人	1,375.0	1,362.0						
	成果指標	ア	時間	35.0	35.0						
		イ	回	1.0	1.0						
	上位成果指標	ア	%	45.0	60.0						
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成21年度末、指定地区の諸事情から山梨県教育委員会から急遽の要請を受け、県内3地区のうちの一つに若草地区の3校が指定された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成21年度に策定されたやまなしの教育振興プランが策定され、その重点施策の一つに豊かな心の育成が掲げられている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	若草地区3校からは、これまで市として推進してきた市指定研究地域ふれあい道徳推進事業の実績をもとに、研究推進していきたいとの意見をうけている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	地域連携実践事業として、学校周辺の通学路に花植えを行っているが、みどり自然課より配布される花苗を確保するなどを行い、経費削減に努めている。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	前年度と同じ

事務事業名	〈H22新規〉やまなし心づくり研究指定校事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	------------------------	-----	-------	-----	------------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 道徳教育の充実、南アルプス市学校教育指導重点であり、地域住民との連携をとり実践事業を推進していくことは、市の教育目標と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公教育の道徳授業であるため。また、県の指定研究事業であるため、事業費の1/2は補助金交付がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 山梨県から委託を受けた3年間の事業であり、事業の対象や意図は、県の指針によるところである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 県の指定研究事業である。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 山梨県からの補助事業である。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 山梨県からの補助事業である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 県からの指定で、事業規模が決められている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業の遂行には、若草地区小中連携推進協議会と教育委員会南アルプス教育推進課2名との連携が必要であるため削除の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 今事業の成果を市内全域に広めることを目的としているため適正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	H22年度より3年間の指定を受けた事業である。道徳教育の推進は、本市の教育目標にも挙げられている重要な施策であるので、中北教育事務所などとも連携をし、確実に事業を展開してほしい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 山梨県の指定を受けて取り組んでいる道徳研究事業。3年間と期限付きの事業であるため、3年間の研究を終えた後は、地域と学校が連携して行える取組について研究を行っている。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 3年間という期間での研究事業であるため、その研究結果や実施状況等を踏まえた上で事業の指定研究事業を終えた後の方向性を見出して行く。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					